

事務事業名	コード1	40340	第二市民会館活動費	事業種別	<input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画	課	生涯学習課			
	コード2		(40320第二市民会館管理費含む)		<input type="checkbox"/> 新市建設計画	所属班	社会教育施設班			
施策体系	施策	12	生涯学習の充実	事業種別	<input type="checkbox"/> 総合戦略	電話番号	63-8755	内線	-	
	施策の展開	23	生涯学習機会の充実		<input type="checkbox"/> 復興計画	予算科目	会計		10	4
				事業種別	<input type="checkbox"/> 定住自立圏構想	根拠法令	旭市民会館の設置及び管理に関する条例、条例施行規則			
					<input type="checkbox"/> 行政改革アクションプラン					
				事業種別	<input type="checkbox"/> 主要事業					
					<input type="checkbox"/> 簡易評価					

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 昭和 55 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで <input checked="" type="checkbox"/> 全体像を記述→	市民の福利増進及び教育文化の向上を図り、産業の発展及び市勢の振興に寄与するため、各種主催講座事業の実施及び市民の生涯学習活動の場として提供する。また、当施設の維持管理(旭市保健センター含む)・運営を行う。 【業務の流れ】 ・主催事業:主催講座計画策定・企画→旭市公民館運営審議会で事業計画の審議→広報紙等による受講生募集(4月・9月・随時)→準備(案内はがき・名札・名簿等作成)→主催講座の開催(開閉講式に参加)→振り返り ・集計業務:各種人数の把握 ・貸館業務 ・施設の維持管理:委託事務

(2) トータルコスト

① 費目の内訳(26年度の実績) 単位:千円		単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)	
1.臨時雇賃金	1,626	千円		1,571	1,626	1,768	
2.受付業務等委託	1,289	千円		1,126	1,289	1,770	
3.光熱水費	2,594	千円		2,518	2,594	2,940	
4.報償金	1,326	千円		1,477	1,326	1,543	
5.その他(耐震補強改修工事等)	4,770	千円		45,920	4,770	5,841	
② 特定財源の内訳(26年度の実績) 単位:千円		事業費計(A)	千円	0	52,612	11,605	13,862
1.国庫支出金		千円			5,486		
2.都道府県支出金		千円					
3.地方債		千円					
4.その他	168	千円				168	
前年度比増減理由:耐震補強改修工事が完了		一般財源	千円		47,126	11,437	13,661
③ 延べ業務時間の内訳(26年度の実績) 単位:時間		人員費	人		1.00	1.00	1.00
24年度	2015時間×1人	延べ業務時間	時間		2,015	2,015	2,015
25年度	2015時間×1人	人員費計(B)	千円	0	7,657	7,657	7,657
26年度	2015時間×1人	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	60,269	19,262	21,519

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	26年度実績(26年度に行った主な活動) ・主催講座事業(26講座) ・貸館業務(サークル・団体等 9時～21時) ・施設管理業務(維持管理業務委託、修繕等) 27年度計画(27年度に計画している主な活動) ・主催講座事業(26講座) ・貸館業務(サークル・団体等 9時～21時) ・施設管理業務(維持管理業務委託、修繕等)	ア 主催講座事業数 イ 自主事業数(自主グループ・サークル) ウ 維持管理契約数	講座	-	29	26	26
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	(1) 市内に住所又は事務所を有する者	ア 人口(4月1日現在)	人	69,223	68,725	68,241	67,819
目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	・主催講座に参加受講し、知識・技術を習得し、教養を高め、生涯学習意識の向上を図る。 ・活動を通じて交流が図れ、新たな仲間作りへと繋がる。 ・安全に利用できる状態にする。	ア 主催講座事業受講者数 イ 延べ利用者数	人	-	524	519	523
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
	市民が特定のテーマについて学習する習慣を身につけることができる	ア 自主グループ・サークル	団体	-	21	21	22

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
昭和55年に、旭市働く婦人の家として、女性労働者や勤労者家庭の主婦の生活向上の増進を図ることを目的として、整備された施設であったが、働く婦人の家として一定の役割を果たしたものと考え、さらに広く全地域住民に利用してもらえる施設として社会教育施設に転用することとし、平成25年4月に教育委員会旭第二市民会館となる。	転用前の働く婦人の家は、成人女性を対象にした施設であったが、現在は、第二市民会館として全住民が対象となる社会教育施設になった。	・利用しやすい施設になって良かったという意見あり。(施設利用対象者が成人女性から全住民対象となったため) ・軽運動場の床がきれいになって良かった意見あり。(平成25年度に耐震補強改修工事で軽運動場の床全面補修を実施)

事務事業名	第二市民会館活動費 (40320第二市民会館管理費含む)	課名	生涯学習課	班名	社会教育施設班
-------	---------------------------------	----	-------	----	---------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 施策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事務事業の目的は市の施策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？ 市民に学習・活動・交流の場を提供することにより、生きがいを見出し生涯学習意欲の向上が図れる。
	② 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 生涯学習の対象者は全市民を対象としている。
	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ 国庫及び県補助金を活用して施設を開設し、その設置目的を遂行する施設であった働く婦人の家を、さらに広く全地域住民に利用してもらえ施設として国・県の承認を受け社会教育施設に転用し、既存の利用者にも不利益が生じないよう運営を図っているところである。また、市民が安全に利用出来るよう適切な維持管理を行わなければならない。
有効性 評価	④ 成果の現状水準	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ 施設の維持管理に関する事故等はない。 働く婦人の家から社会教育施設第二市民会館へ転用し、全市民対象が利用できる施設となったが、まだ、その事実が一部浸透しきれていない部分もある。
	⑤ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？成果の向上余地はどの程度あるか？ 施設の利用者も含めた市民への情報提供や自主グループ等の育成などにより成果の向上が得られる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(生涯学習課所管の各施設主催講座) (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1) 具体的にどのような事務事業か？ (2) 類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ フラ講座の開催にあたっては、受講生から要望もあり、空調設備が整備された他施設へと移設を行った。また、書道講座については、老朽化施設から当施設に受け入れを行った。 定員に達した人気講座で受講希望の方には、まだ定員に空きがある同種講座のある施設を紹介した。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) 主催講座事業の見直し等により経費削減につながっているが、新たなサークルの夜間利用の増加により夜間管理業務委託の経費もかかる。また、施設1階の旭市保健センターの維持管理費(光熱水費・施設管理関係業務委託等)も増加している。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ 現行：臨時職員1人＋正職員1人 計 2人 平成23年度以降に正職員を1名を臨時職員1名に変更、人件費は大幅に削減されている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ ・全市民に平等に利用機会を与えており公平・公正である。 ・施設利用者には受益者負担の原則として使用料を公平・公正に頂いている。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	主催講座事業の見直しや人件費等の削減により経費の縮減を図ってきたが、新たなサークル活動の増加により維持管理費も増大しているとともに、1階保健センターと併設のため光熱水費・維持管理費も増大している。そのため、海上公民館を中心に講座の企画立案等を一元的に行い各施設に割り振ることにより更なる経費の縮減を図っていく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	※2～3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○																				
	低下																						
(2) 改革改善案について	※いつまでに、なにを、どうするのか？																						
いつまでに	なにを、どうするのか？																						
現在以降随時	市民が安心して利用できる施設として、生涯学習を通じての交流が図れるよう情報提供など利用者の増加につながる手法を検討する。																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
・施設設備等の計画的な更新 ・自主グループ等の支援・育成																							